

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	
補助教材等	
学習上の留意点	
第6回以降のテーマ選択は本科目の趣旨により、特別研究指導教員を含まないチームから選択すること。	
担当教員からのメッセージ	
経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性などの現実的な条件の範囲内で、ニーズに合ったシステム、エレメント(コンポーネント)、方法を開発することを目指す。	

授 業 の 明 細				
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)	
1	ガイダンス	経営情報工学特論Ⅱにおける講義および実習の進め方を理解し、実行できる。		
2	第2～5回は、経営情報工学とは異なる他専門分野について理解するため、生産システム工学専攻・物質工学専攻の工学特論Ⅱを受講し、理解して説明できる。			
3				
4				
5				
6				
7	第6～15回は経営情報工学の枠組みの中で、経営・情報・数理の知識や技術を組み合わせた“もの”づくりに取り組む。経営・情報・数理のうち2分野以上にわたる複合分野の現実問題に対して、他分野を専門とする2人以上の教員がチームを組み、それぞれの専門分野の知識や手法を用いた課題を設定する。学生は教員チームから提示された課題の中から自分の専門分野と関連する課題を選択し、これまでに修得した知識・技術を駆使し、かつ創造性を発揮して、“もの”を立案し、解としての“もの”を実現する。			
8				
9				
10				
11				内田・田川：XBRLを活用した財務諸表の作成
12				二木・挾間・根岸：多国籍企業による情報のホームページ化
13				松野・岸川：経済・経営事象に関する数理統計モデルの構築とその応用
14				荒川・苗・武藤：非負値行列分解(NMF)を用いた金融データからのパターン発見
15				
総 学 習 時 間 数				90 時間
講 義			30 時間	
自 学 自 習			60 時間	